

KENWOOD

ナビゲーションシステム

DVZ-2201
DVZ-2081M
DVZ-2201TV
DVZ-9191TV

取付説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取付説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



C O N T E N T S

安全上のご注意	3
ナビゲーションシステム同梱物一覧	6
取り付け時のご注意	7
ナビゲーションシステム取り付け	8
ナビゲーション本体①の取り付け	8
リモコン受光部（DVZ-2201のみに付属）の取り付け	8
GPSアンテナの取り付け	9
電源ハーネス／GPSアンテナの接続	10
DVZ-2081M付属モニター（LZ-8000）との接続	12
DVZ-2201TV付属モニター（LZ-7200）との接続	13
DVZ-9191TV付属モニター（LZ919）との接続	14
ケンウッド製以外の液晶テレビへの接続	15
リモコン電池の入れかた	16
本機のリセット	16
取り付け直後の自車マーク位置について	16
VF-B2200（別売品）同梱物一覧	17
VF-B2200取り付け	18
VICSレーダーユニットの取り付け	18
ビーコンアンテナの取り付け	20
VF-B2200との接続	22
KNA-VM2000（別売品）同梱物一覧	23
KNA-VM2000取り付け	24
トークボタンの取り付け	24
マイクの取り付け	24
KNA-VM2000との接続	25
NA-400T/NA-420Tと携帯電話の接続	26
ETC-2200との接続	27

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。
お読みになった後は必要などきにご覧になれるように大切に保管してください。

絵表示について

この取付説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

⚠ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

Ⓢ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

警告



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12Vアース車専用です。



配線作業中はバッテリーの端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



本製品の配線は必ず、取付説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



表示モニターは前方視界の妨げにならない範囲でセンターパネルの上部付近に取り付けてください。



車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。



本製品取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にしないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起るおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。

警告



禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。
コードの被覆がやぶれやすく、ショート・発熱事故による火災が起
るおそれがあります。
また、電流容量オーバーにより、火災が起るおそれがあります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドラン
プ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認し
てください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように
取り付けをやり直してください。



実施

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないこと
を確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換
してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管して
ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用
すると、事故・火災・感電の原因となります。



実施

万一、＜異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど＞異常が起こり
ましたら、直ちに使用を中止し、必ず＜お買い上げの販売店＞にご相談ください。その
まま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。



実施

修理は必ず＜お買い上げの販売店＞、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご
依頼ください。

注意



実施

本製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げの販売店
に依頼してください。

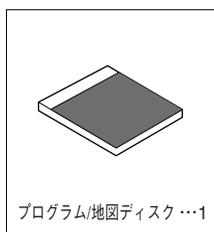
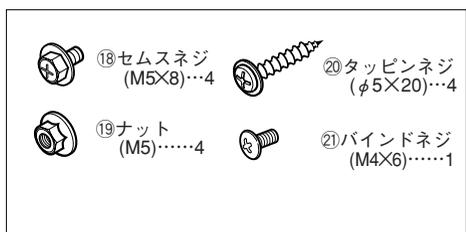
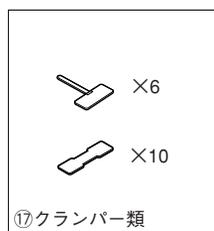
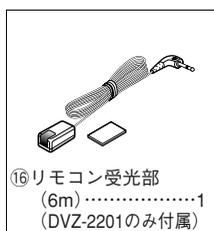
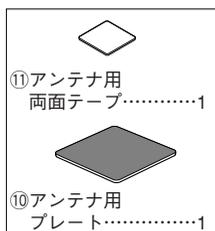
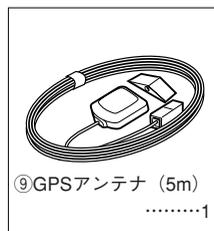
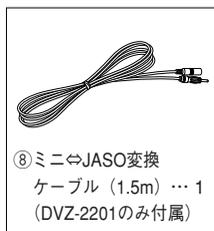
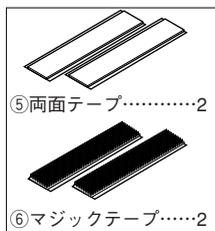
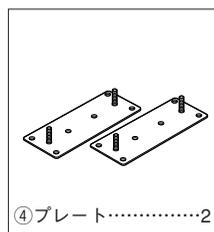
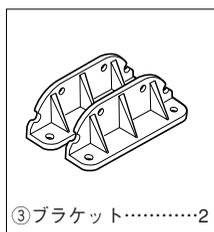


禁止

本製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

ナビゲーションシステム同梱物一覧

取り付け作業を始める前に、下表の部品が揃っていることを確認してください。



取り付け時のご注意

- 本製品はDC12V、マイナスアース専用です。これ以外の電源には接続しないでください。
- ショート事故防止のため、取り付け作業時はバッテリーのマイナス端子からコードをはずしておいてください。
- 本書に従って、正しく取り付け・配線してください。間違った配線や改造は、誤動作や故障の原因になるばかりではなく、事故の原因にもなります。

メモ ノーマルサイズのタッチパネルTVを接続時はタッチパネル操作はできません。



実施

● 取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。

また、短いネジを使用すると、本機が取付金具などから外れることがあります。

- カーペットを切る際、カーペットの下にケーブルやパイプなどが無いか確認してください。ケーブルやパイプを傷つけると事故や故障の原因になります。
- 両面テープ、マジックテープを貼る面の油污れなどをきれいに拭き取ってください。汚れていると粘着力が低下し固定できなくなります。



禁止

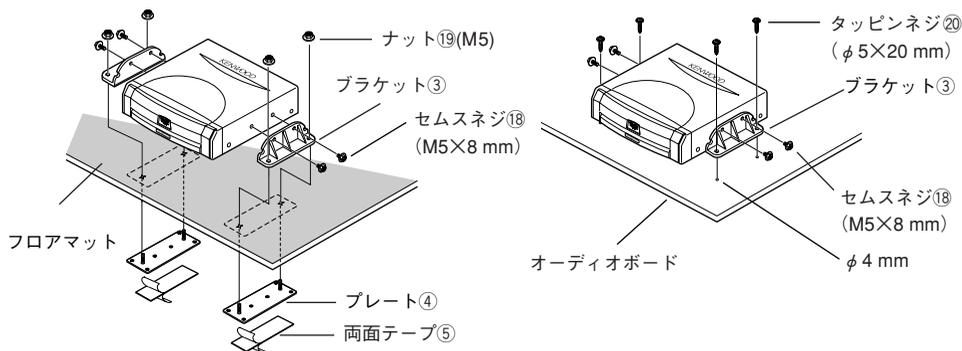
● 次のような場所に各ユニットを取り付けないように注意してください。

- 運転操作の妨げになる場所や、運転者の視野の妨げになる場所。
- エアバッグ装置の上または動作の妨げになる場所。
- 直射日光の当たる場所やエアコンの送風が当たる場所、水のかかる場所、高温になる場所。
- しっかりと固定できない場所。
- グローブボックスの開閉の妨げとなる場所。

ナビゲーションシステム取り付け

ナビゲーション本体①の取り付け

■プレート④を使った簡易的な取り付けかた ■タッピンネジ⑳を使った取り付けかた



取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

実施

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機がブラケット③などから外れることがあります。



車体に穴を開ける場合は、裏側に何も無いことを確認してください。

注意



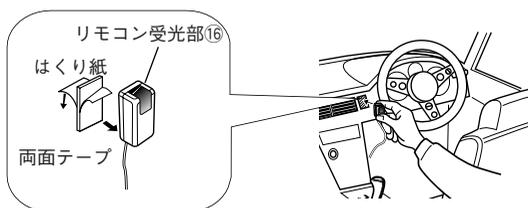
- セムスネジ⑱は取り付け時は仮止め程度とし、ブラケット③を取り付け面に固定後、最後に締め付けてください。
- 取り付ける面は油などの汚れをよく拭き取ってください。また、凹凸面への取り付けは避けてください。
- プレート④を使った取り付けは、簡易的な方法です。振動の影響がでる場合は、タッピンネジ⑳を使った取り付け方法で車に固定してください。

リモコン受光部 (DVZ-2201のみに付属) の取り付け

図のようにリモコン受光部⑯の裏にリモコン受光部付属の両面テープを貼り、リモコンの信号をよく受信できる場所に取り付けてください。



- 取り付ける面は、油などの汚れをよく拭き取ってください。
- 直射日光の当たる場所やTVモニターの近くはリモコンの信号が受信されにくいので避けてください。
- ケンウッド製TVを使用する場合は、TVモニター部にリモコン受光部が内蔵されていますので、リモコン受光部⑯を使用する必要はありません。



GPSアンテナの取り付け



注意

- 各ユニットの取り付けの際は、必要に応じて付属のクランパー類⑰を使用してケーブル類を固定してください。
- GPSアンテナ裏のテープは、取り外さないでください。テープがはがれると、防水効果が落ちてGPSアンテナの故障原因になります。



- GPSアンテナ⑨は、車内と車外のどちらにも設置できますが、どちらの場合もGPS衛星の電波を受信しやすいようにできるだけ水平に取り付けてください。
- 車内への取り付けではGPS衛星の受信状態が車外に比べて悪くなります。車種によってはGPS衛星の電波を受信できないこともありますので、なるべく車外への設置をお勧めします。
- GPSアンテナは、携帯電話や無線機のアンテナから30cm以上離れた位置に取り付けてください。GPS衛星からの電波がこれらの通信によって妨害される場合があります。
- GPSアンテナをナビゲーション本体に近づけると、GPS衛星からの電波を受信しづらくなることがあります。GPSアンテナとナビゲーション本体とはできるだけ離して取り付けてください。

■車外に設置する場合

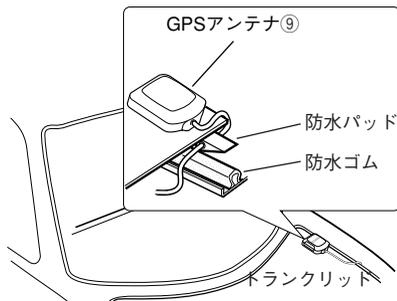
トランクリッドにGPSアンテナ⑨の磁石で取り付けます。

- 1 GPSアンテナ⑨付属の防水パッドをトランクルームの防水ゴムと当たる場所に貼り付けます。



防水パッドを取り付ける面は、油などの汚れをよく拭き取ってください。

- 2 GPSアンテナ⑨のコードをトランクリッドからトランクルームに引き込みます。



■車内に設置する場合

GPS衛星の電波を受信しやすいようにリアトレイ中央のガラス面に近いところに取り付けます。

- 1 アンテナ用プレート⑩の両面テープのはくり紙をはがしGPSアンテナ設置場所に貼り付けます。

- 2 GPSアンテナ⑨をアンテナ用プレート⑩の上に置きます。



アンテナ用プレート⑩を使用しないと受信感が落ちることがあります。



電源ハーネス／GPSアンテナの接続



初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

実施

1. 電源コードをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
2. 電源ハーネスのプラグ+ナビゲーション本体①に接続します。
3. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
4. 車両のエンジンをかけて、本体のリセットボタンを押します。

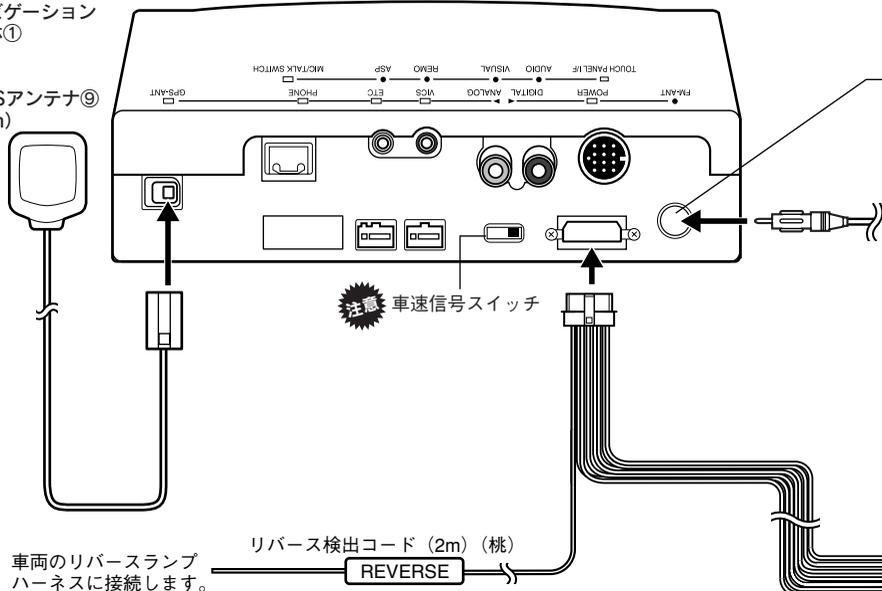


注意

- 各端子の接続は完全にロックするまで差し込んでください。
- 使用しない電源ハーネスのプラグ、拡張端子のキャップは取り外さないでください。

ナビゲーション
本体①

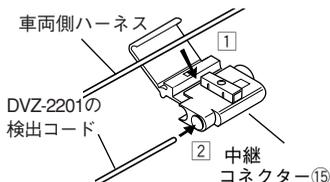
GPSアンテナ②
(5m)



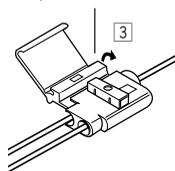
車両のリバースランプ
ハーネスに接続します。

中継コネクター ⑮の使いかた

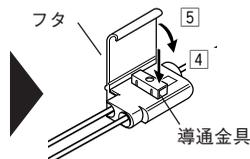
- 1 車両側のハーネスを中継コネクターに差し込みます。
- 2 ナビゲーション本体①の検出コードを中継コネクター⑮に差し込みます。
- 3 ケーブル止めをロックします。
- 4 プライヤーなどで導通金具を樹脂面と平らになるまで押し込みます。
- 5 最後にフタをロックします。



ケーブル止め



フタ



注電 車速信号スイッチの設定

取り付ける車種により、車速信号スイッチの設定が必要です。

DIGITAL：デジタル信号による車速信号の車種

ANALOG：発電方式などによる車速信号の車種

DIGITAL
ANALOG



車種により対応できないものがあります。詳しくは販売店にお尋ねください。

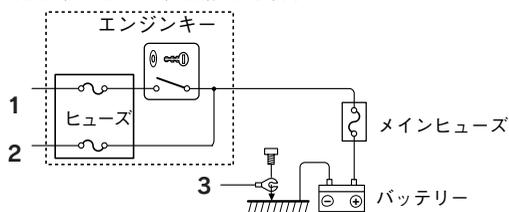


注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

図 A

ACC（アクセサリ）回路のある車両



注意

輸入車など、車両のエンジンキーにACCポジションがない場合、エンジンキーがオンのときに通電する配線から分岐させてアクセサリ電源コードに接続してください。

FMアンテナへ

メモ

- DVZ-2081M/2201TV/9191TVに付属のTVアンテナを接続する場合は、左用の外側エレメントのケーブルを接続します。
- 一般のTVアンテナを接続する場合はミニ→JASO変換ケーブル⑧（DVZ-2201のみに付属）を使用します。
- 受信状態が良くない場合は専用のFMアンテナを設置することをお勧めします。

PRK SW

パーキング検出コード（緑）

LINE MUTE

ラインミュートコード（茶）

イルミネーションコード（橙）

ILLUMI

ヒューズ

アクセサリ電源コード（赤）

ACC

ヒューズ

バッテリー電源コード（黄）

BATT.

アースコード（黒）

車速検出中継コード（白）⑪（3m）

S SENS

車速検出コード（白）

付属の中継コネクタ⑮を使用し、車両のパーキングブレーキ検出スイッチハーネスに接続します。

カーオーディオのラインミュート端子へ接続します。使用しないときはキャップを外さないでください。

メモ ラインミュート端子の有無は、お使いのケンウッドカーオーディオ付属の取扱説明書をご覧ください。

他のセットのイルミネーションコードが接続できます。使用しないときはキャップを外さないでください。

ライトスイッチでオン/オフできる電源へ接続します。

他のセットのアクセサリ電源が接続できます。使用しないときはキャップを外さないでください。

エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続します。→ 図 Aの1

他のセットのバッテリー電源が接続できます。

使用しないときはキャップを外さないでください。

エンジンキーのオン/オフに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続します。→ 図 Aの2

車の金属部分（電源のマイナス側と導通しているシャーシなどの一部）へ接続します。→ 図 Aの3

付属の中継コネクタ⑮を使用して車両の車速信号ハーネスに接続します。

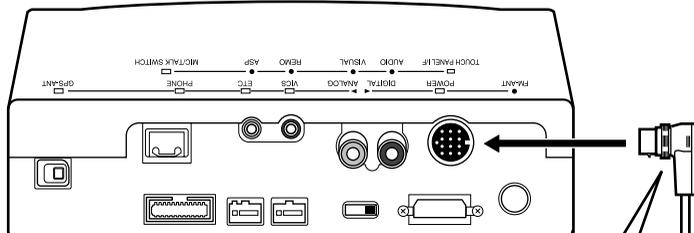


車速信号検出中継コード⑪のS SENSと書かれたホルダー（保護ダイオード入り）は切り外さないでください。車両故障の原因になります。

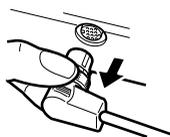
DVZ-2081M付属モニター(LZ-8000)との接続

モニターユニットの電源などの配線方法や取り付け方法は、モニターの取付説明書を参照してください。

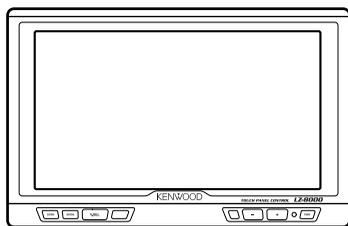
ナビゲーション本体



インターフェイスクーブルを抜くときは、コネクターのリング部分を持って行ってください。ほかの部分を持って抜くとロック機構が解除されないため、コネクター部が破損する恐れがあります。



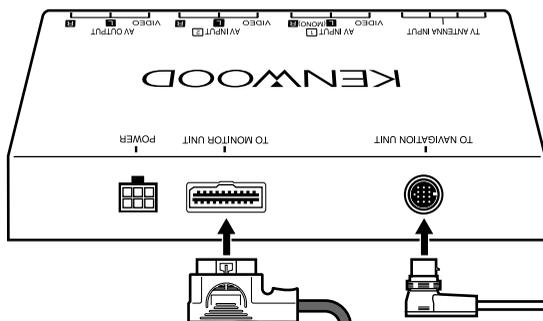
LZ-8000モニターユニット



付属モニター用
インターフェイスクーブル⑬ (4m)

✕モ TVチューナーユニットとナビゲーション本体を離れた場所に取り付けるときは、別売品のナビゲーション接続ケーブルKN-IF1000 (5.5m) を使用してください。

LZ-8000 TVチューナーユニット

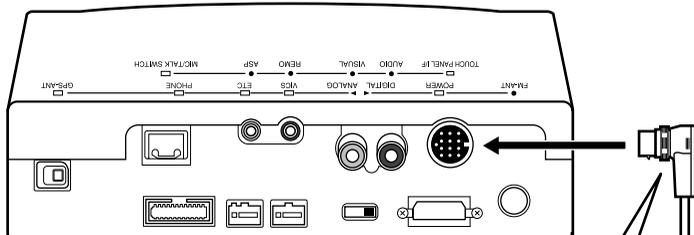


LZ-8000 付属中継ケーブル (3m)

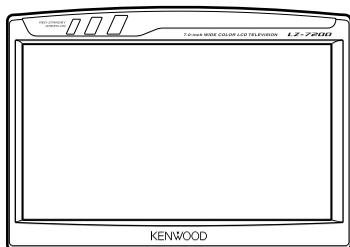
DVZ-2201TV付属モニター(LZ-7200)との接続

モニターユニットの電源などの配線方法や取り付け方法は、モニターの取付説明書を参照してください。

ナビゲーション本体

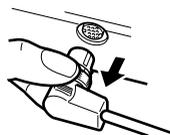


LZ-7200モニターユニット



注意

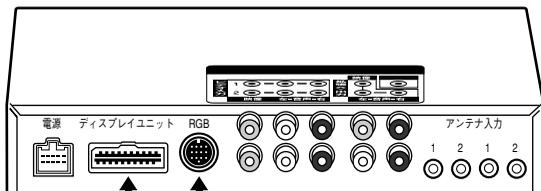
インターフェイスクーブルを抜くときは、コネクターのリング部分を持って行ってください。ほかの部分を持って抜くとロック機構が解除されないため、コネクター部分が破損する恐れがあります。



付属モニター用
インターフェイスクーブル⑬ (4m)

メモ TVチューナーユニットとナビゲーション本体を離れた場所に取り付けるときは、別売品のナビゲーション接続ケーブルKN-IF 1000 (5.5m)を使用してください。

LZ-7200 TVチューナーユニット

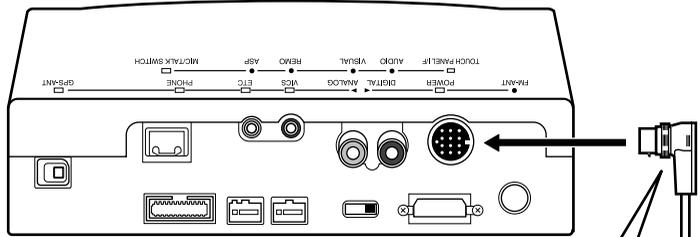


LZ-7200 付属中継ケーブル (4m)

DVZ-9191TV付属モニター(LZ919)との接続

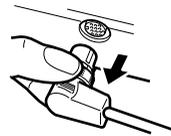
モニターユニットの電源などの配線方法や取り付け方法は、モニターの取付説明書を参照してください。

ナビゲーション本体①



注意

インターフェースケーブルを抜くときは、コネクタのリング部分を持って行ってください。ほかの部分を持って抜くとロック機構が解除されないため、コネクタ部分が破損する恐れがあります。



LZ919

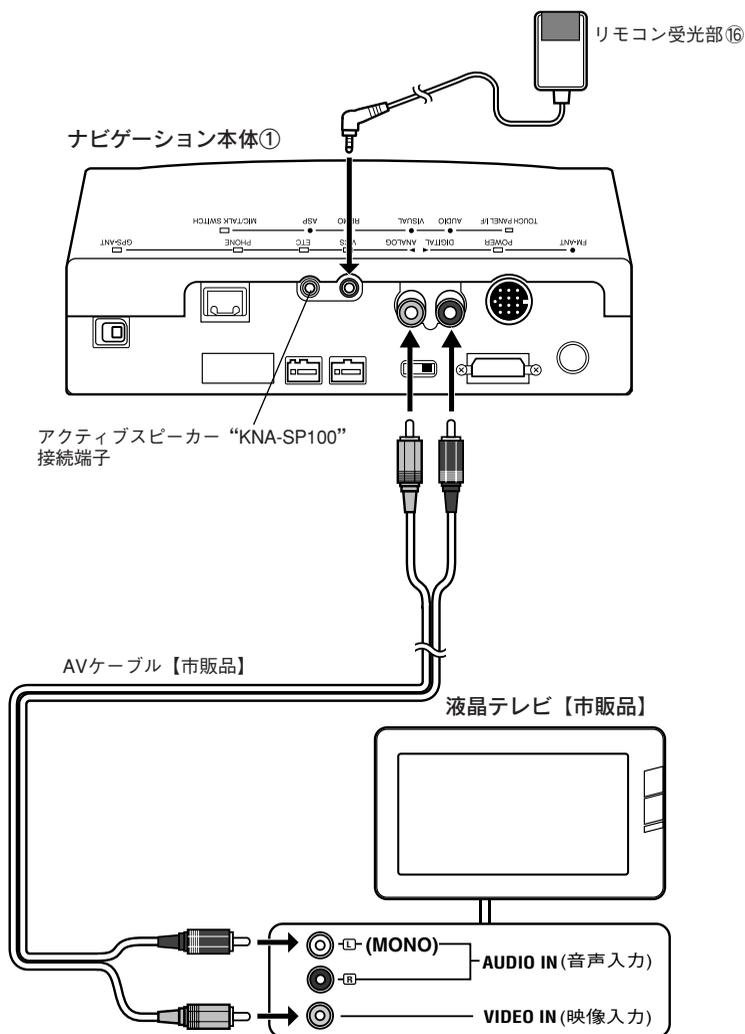


付属モニター用インターフェースケーブル⑭ (5.5m)

ケンウッド製以外の液晶テレビへの接続

市販品のAVケーブルを使用して、液晶テレビに接続します。

接続するテレビに内蔵スピーカーが無い場合は、別売品のアクティブスピーカー“KNA-SP100”が必要です。

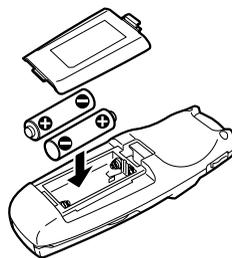


メモ 音声はL (MONO) 側に入力してください。

リモコン電池の入れかた

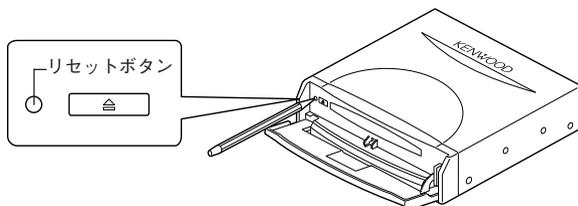
付属の乾電池（単四型2本）を⊕⊖の向きを正しく合わせて入れてください。

- メモ**
- 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
 - 操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、電池が消耗していることが考えられます。このようなときは、2個とも新しい電池と交換してください。新しい電池と古い電池を混ぜて使用すると、液漏れなどが発生して故障の原因になります。



本機のリセット

取り付けが完了後に、配線に間違いがないか確認してください。間違いがなければ、車両のエンジンをかけて、リセットボタンをペンの先などで押してください。

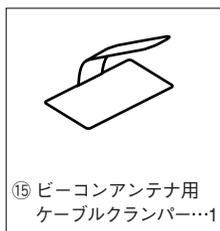
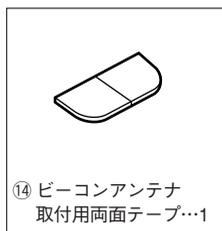
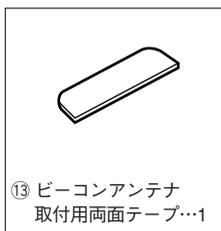
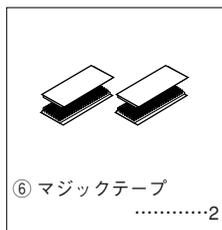
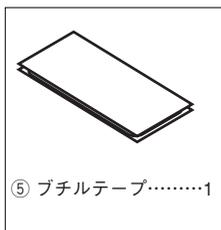
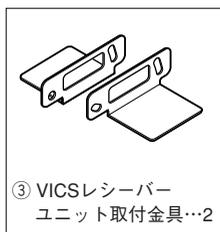


取り付け直後の自車マーク位置について

- 取り付け直後は、ジャイロセンサーの初期値設定が必要です。現在地を測位後、障害物（建物、街路樹など）が少ない場所を時速40km/h位の一定速度で、300m以上走行してください。
- メモ**
- 初期値が設定されるまで、ナビゲーションの自車マークの位置が実際と大きく異なることがあります。
 - GPS衛星を受信後に走行を始めてください。
GPS衛星を受信していない状態で走行を始めると、正しい位置に表示されるまでに長時間かかる場合があります。

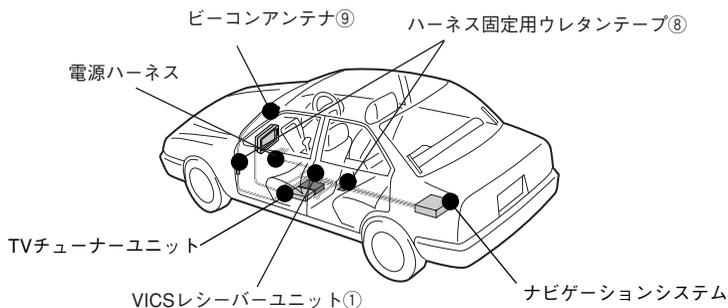
VF-B2200 (別売品) 同梱物一覧

取り付け作業を始める前に、下表の部品が揃っていることを確認してください。



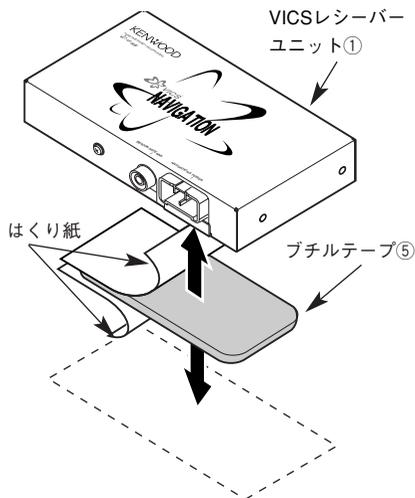
VF-B2200取り付け

VICSレシーバーユニットの取り付け



- メモ**
- ハーネス固定用ウレタンテープ⑧（以下ウレタンテープ⑧）を適当な大きさに切り、ハーネス、ケーブルやコードを固定してください。
 - ハーネスやケーブルなどを車両の板金部の近くを通す場合は、ウレタンテープ⑧を巻いてください。
 - 電源ハーネスのヒューズボックスなどにウレタンテープ⑧を巻くと異音（カタカタ音）を防止できます。

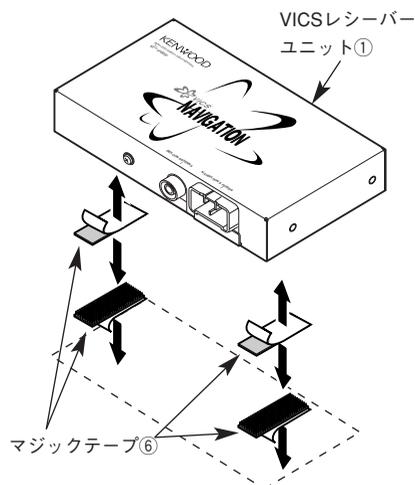
■ プチルテープを使った取り付けかた



! プチルテープ⑤を貼る面の油汚れなどをきれいに拭き取ってください。汚れていると粘着力が
実施 低下し固定できなくなります。

- 1 VICSレシーバーユニット①（以下本体①）の取り付け位置を決めます。
このとき、本体①の前面にはコードを接続するためのスペースが必要です。
- 2 プチルテープ⑤を貼る場所の油汚れなどをきれいに拭き取ります。
- 3 プチルテープ⑤のはくり紙をはがし本体①に貼り付け、固定します。

■マジックテープを使った取り付けかた



! マジックテープ⑥を貼る面の油污れなどをきれいに拭き取ってください。汚れていると粘
実施 着力が低下し固定できなくなります。

- 1 VICSLレーザーユニット①（以下本体①）の取り付け位置を決めます。
このとき、本体①の前面にはコードを接続するためのスペースが必要です。
- 2 マジックテープ⑥を貼る場所の油污れなどをきれいに拭き取ります。
- 3 マジックテープ⑥のはくり紙をはがし本体①に貼り付け、固定します。

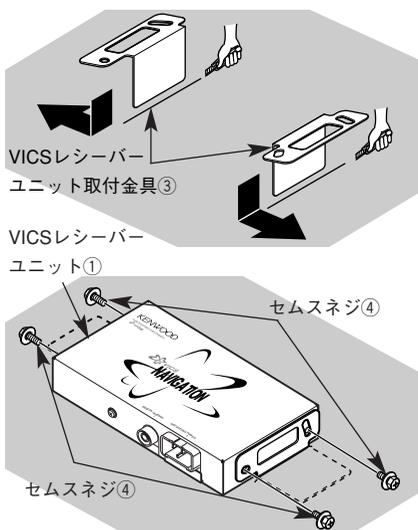
メモ マジックテープ⑥のオスのみを使用して、カーペットに固定することもできます。

■取付金具を使った取り付けかた



実施

- **取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。**
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付金具などから外れることがあります。
- カーペットを切る際、カーペットの下にケーブルやパイプなどが無いか確認してください。ケーブルやパイプを傷つけると事故や故障の原因になります。



- 1 VICSLレーザーユニット①（以下本体①）の取り付け位置を決めます。
このとき、本体①の前面にはコードを接続するためのスペースが必要です。
- 2 VICSLレーザーユニット取付金具③（以下本体取付金具③）を通すため、カーペットに切れ目を入れます。
本体取付金具③をカーペットに差し込みます。
- 3 本体①に本体取付金具③を取り付けます。
本体①が水平になるように固定します。（本体取付金具③の左右を入れ替えると逆側に傾けることができます。）

ビーコンアンテナの取り付け



●ビーコンからの信号を正常に受信するため、以下の点にご注意ください。

実施

- ◎アンテナ面が車両前方に向くこと（横や逆方向を向かないこと）
- ◎フロントダッシュボード上で、運転の妨げにならず外から見える場所であること
- ◎前方から見てステッカーなどで隠れないこと
- ◎ワイパーの払拭範囲に入る場所であること



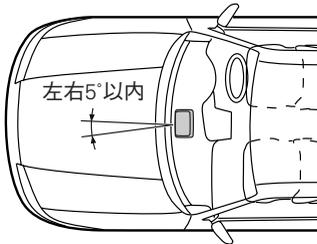
- エアバッグ装置の上または動作の妨げになる位置には取り付けないでください。
- GPSアンテナから20cm以上離してください。
- しっかりと固定できない場所やエアコンの吹き出し口付近には取り付けないでください。
- 両面テープ⑫、⑬、⑭、ケーブルクランパー⑮を貼る面の油污れなどをきれいに拭き取ってください。汚れていると粘着力が低下し、はがれると事故の原因になります。



●金属コーティングフロントガラス装着車の場合は、電波ビーコンが受信できないことがあります。
●ビーコンアンテナ⑨は防水タイプではありませんので、車外には設置することはできません。

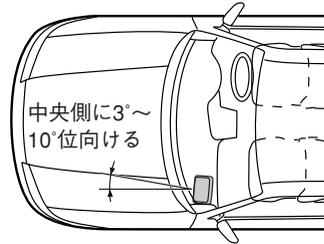
●ダッシュボードの中央に取り付ける場合

車両前方に対して、左右5°以内に取り付けてください。

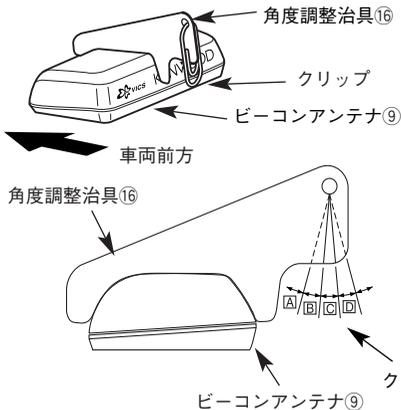


●ダッシュボードの左側に取り付ける場合

車両前方に対して、少し中央側に3°~10°位向けて取り付けてください。



■ 角度調整治具の使いかた

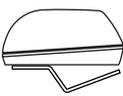
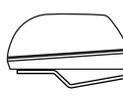
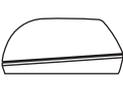


1 フロントダッシュボード上の外から見える場所で、ビーコンアンテナ⑨を取り付けできる位置を決めます。

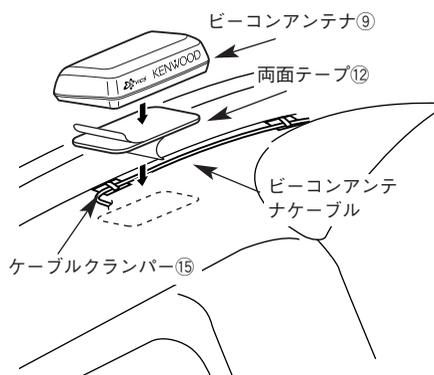
ビーコンアンテナ角度調整治具⑫（以下角度調整治具⑫）を使用し、取り付け面の傾斜角度を測ります。

2 角度調整治具⑫のクリップが示す位置から取り付け方法を選択します。

■ 取り付け方法

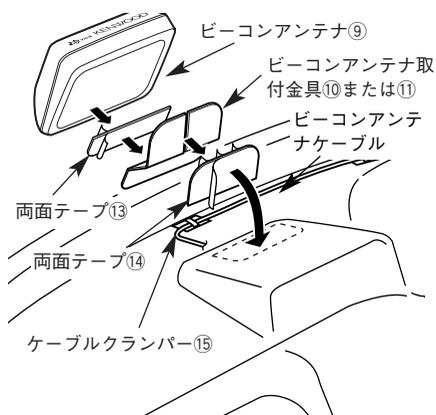
A	B	C	D	E
				
ビーコンアンテナ取付金具 (20°) ⑩を使用	ビーコンアンテナ取付金具 (10°) ⑪を使用	両面テープ⑫のみ (0°)の使用	ビーコンアンテナ取付金具 (10°) ⑪を使用	ビーコンアンテナ取付金具 (20°) ⑩を使用

■ 両面テープのみを使った取付かた [C]



- 1 両面テープ⑫、ケーブルクランパー⑮を貼る場所の油污れなどをきれいに拭き取ります。
- 2 両面テープ⑫のはくり紙をはがしビーコンアンテナ⑨に貼り付け、固定します。

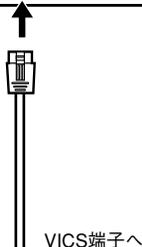
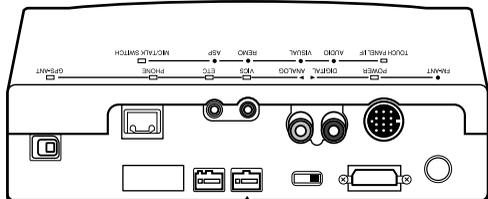
■ 取付金具を使った取り付けかた [A、B、D、E]



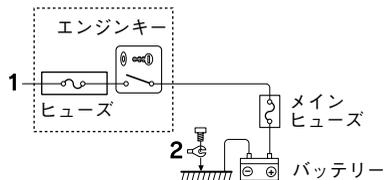
- 1 両面テープ⑬、⑭、ケーブルクランパー⑮を貼る場所の油污れなどをきれいに拭き取ります。
- 2 ビーコンアンテナ取付金具⑩または⑪に、両面テープ⑬、⑭を貼り、ビーコンアンテナ⑨に貼り付けます。
- 3 ダッシュボード上に仮置きし、角度調整器具⑯のクリップが、[C]の範囲内にあることを確認後、ダッシュボードに貼り付けて固定します。

VF-B2200との接続

ナビゲーション本体



図A



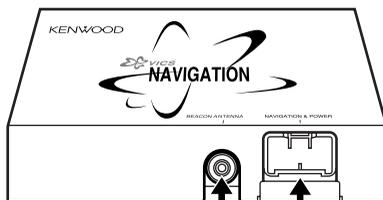
注意

輸入車など、車両のエンジンキーにACCポジションがない場合、エンジンキーがオンのときに通電する配線から分岐させてアクセサリ電源コードに接続してください。

ビーコンアンテナ⑨



VF-B2200レシーバーユニット①

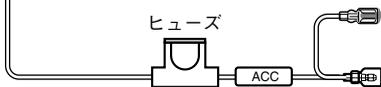


電源・通信ハーネス② (4m)

アースコード (黒)

車の金属部分 (電源のマイナス側と導通しているシャーシなどの一部) へ接続します。 ➡ 図Aの2

アクセサリ電源コード (赤)



他のセットのアクセサリ電源が接続できます。使用しないときはキャップを外さないでください。

エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続します。 ➡ 図Aの1

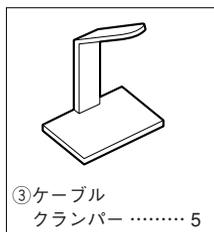


注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量 (アンペア数) の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

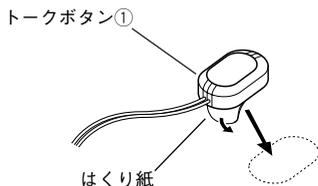
KNA-VM2000 (別売品) 同梱物一覧

取り付け作業を始める前に、下表の部品が揃っていることを確認してください。



KNA-VM2000取り付け

トークボタンの取り付け



トークボタン①裏面の両面テープのはくり紙をはがし、トークボタン①を運転操作に支障のない場所に固定します。

マイクの取り付け

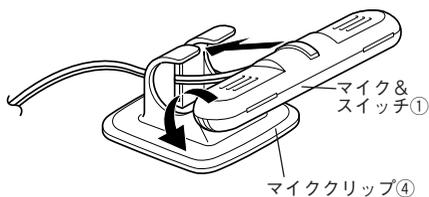


マイクには指向性があります。マイク面を操作する人の方に向けて設置してください。

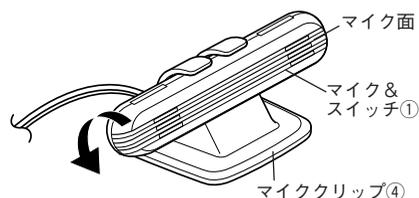
実施

ステアリングポストなど音声の認識が可能な場所に固定します。

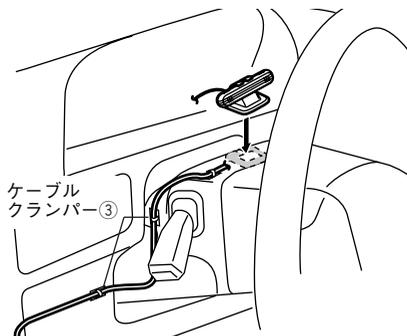
■ステアリングポストに取り付ける場合



- 1 マイク&スイッチ①をマイククリップ④に取り付けます。
マイク&スイッチ①裏側のボスをマイククリップ④の溝に入れてください。

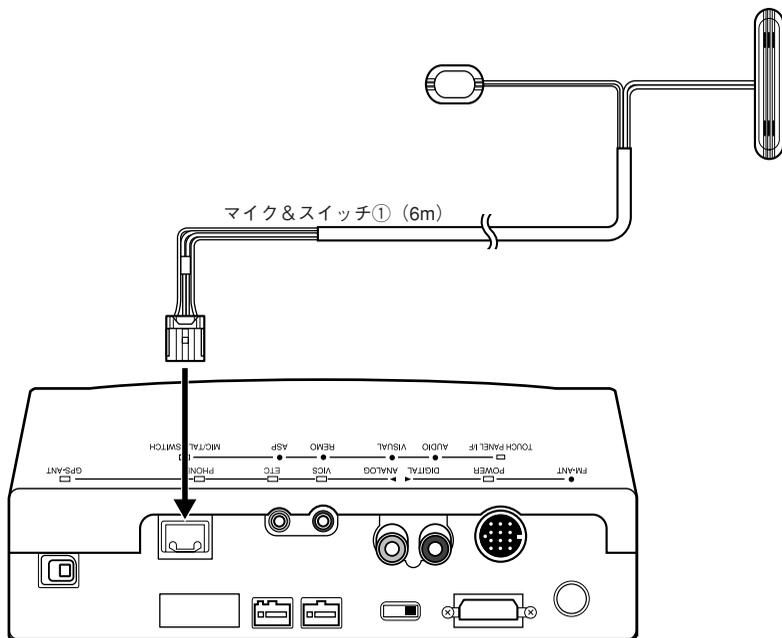


- 2 ステアリングポストにマイククリップ④に付属の両面テープで取り付けます。
マイク&スイッチ①を利用者の口元を向くようにします。



- 3 ケーブルクランパー③で数カ所固定しながら、マイクコードを配線します。

KNA-VM2000との接続

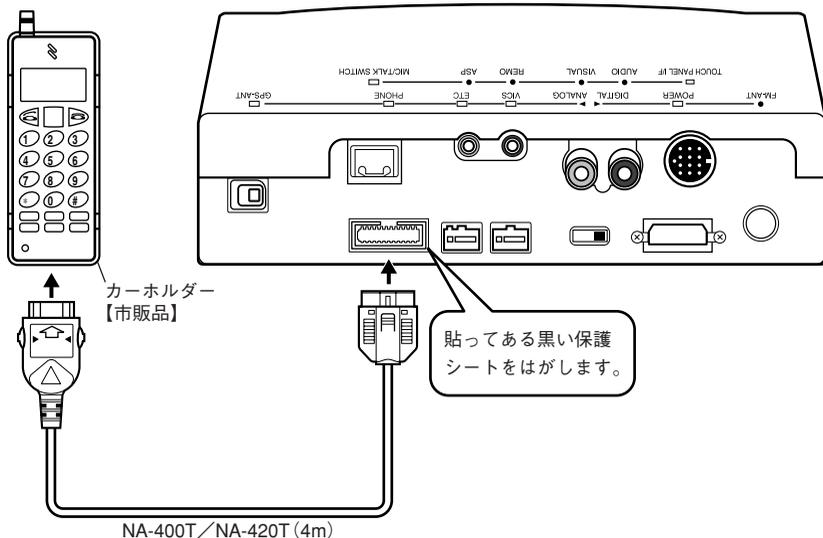


ナビゲーション本体

NA-400T/NA-420Tと携帯電話の接続

デジタル方式携帯電話
【市販品】

ナビゲーション本体

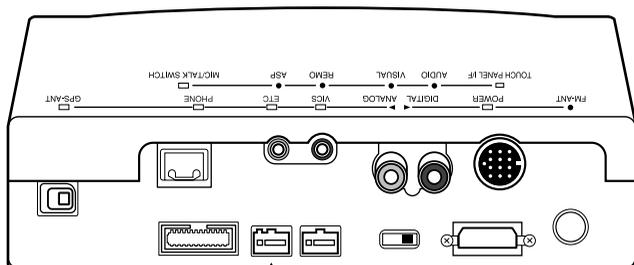


- ✖️ 携帯電話とナビゲーション本体を接続するケーブルは、携帯電話の種類に合ったものをご使用ください。
PDCモデル用：NA-400T
cdmaOneモデル用：NA-420T

ETC-2200との接続

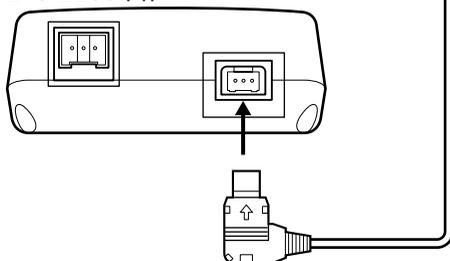
ETCユニットの電源などの配線方法や取り付け方法は、ETCユニットの取扱説明書を参照してください。

ナビゲーション本体



ETC-2200付属 インターフェイスクーブル

ETC-2200本体



KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪）電話(06)6394-8085 〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22
受付時間9：20～17：40（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます。）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。